

Call for Papers

第2回 Household Finance コンファレンス

近年、学術研究のテーマとしての個人・家計の金融行動や金融リテラシーに関する関心が広がりを見せており、また我が国における政策課題としての重要性も高まってきています。そのような状況を背景として、我々がオーガナイズした最初の Household Finance に関するコンファレンスを2017年1月に開催しました。第1回目のコンファレンスは十分な成功を収めましたので、今年度も下記のようにコンファレンスを開催することといたしました。

日時： 2018年1月20日（土）

場所： 一橋大学（千代田キャンパス）一橋講堂中会議室

<http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/hitotsubashi.html>

報告を希望される方は、10月末日までにメールの添付ファイルで発表希望論文を、祝迫・家森の二人までお送りください。また可能であれば応募の際に、希望する討論者を2名程度まであわせてお知らせいただくようお願いします。論文の採否については11月中旬をめどにお知らせします。

論文自体は英語でも日本語でも結構ですが、コンファレンス当日の使用言語は日本語とし、また実証研究に関しては我が国のデータを用いたものを優先します。応募にあたっては、フルペーパーの送付が望ましいですが、10ページ程度のドラフト、ないしは相当する発表スライドでも構いません。また関東圏以外からの、発表者・討論者の旅費は主催者側で用意する予定です。その他、何か疑問点等ございましたら、遠慮なく祝迫までお問い合わせください。

多数のご応募をお待ち申し上げております。Household Finance ないしは関連する分野に関心のある知り合いの研究者の方がおられましたら、このメール／ファイルを転送していただきますようお願いいたします。

論文送付先／Co-organizers

一橋大学経済研究所 祝迫得夫 <iwaisako@ier.hit-u.ac.jp>

神戸大学経済経営研究所 家森信善 <yamori@rieb.kobe-u.ac.jp>

2017年9月3日

(参考) 第1回 Household Finance コンファレンス

日時： 2017年1月21日(土) 10:15-17:10

場所： 一橋講堂 1階 特別会議室

- 10:15-10:20 開会の挨拶 祝迫得夫(一橋大学)
- 10:20-11:20 古村聖(武蔵大学)「夫婦間交渉力と生命保険需要に関する実証研究」
討論者：白井恵美子(一橋大学)
- 11:20-11:30 休憩
- 11:30-12:30 青木浩介(東京大学)“Household Portfolios in a Secular Stagnation World: Evidence from Japan”(with Alexander Michaelides and Kalin Nikolov)
討論者：山田知明(明治大学)
- 12:30-13:30 昼食
- 13:30-14:30 臼杵政治(名古屋市立大学)「引退前後の高齢者世帯の貯蓄動向変化—就業形態と純金融資産の影響—」
(北村智紀・中嶋邦夫と共著)
討論者：宇南山卓(一橋大学)
- 14:30-15:30 角谷快彦(広島大学)“What Determines Financial Literacy in Japan?”(with Mostafa Saidur Rahim Khan)
討論者：関田静香(京都産業大学)
- 15:30-16:00 休憩
- 16:00-17:00 上山仁恵(名古屋学院大学)
「誰がリバースモーゲージを必要としているのか?—日本におけるリバースモーゲージ需給ニーズのミスマッチ」
討論者：家森信善(神戸大学)